

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
国語・国語表現		2・3 (継続)	4	国語表現 (教育出版)
科目の概要と目標		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		
学年	単元	学習内容	到達度目標	
2年	第1章 言葉に変える	・メモを取る・メモで伝える	・自己の表現能力の実態を把握する。整理・記録するための基本的な技術を身に付ける。	
	第2章 声の表現	・スピーチの方法 ・声の発表会	・スピーチのための事前準備や本番での留意点を理解する。他人の興味や関心をひく紹介の仕方を理解する。	
	第3章 漢字と語彙	・語義を探る・語彙を広げる ・文字による表現	・漢字の仕組みや語の意味、表記について理解する。効果的な言葉の選び方を理解し、表現の仕方を身に付ける。	
	第4章 人とつながる言葉	・待遇表現 ・励ます言葉・受け入れる言葉	・挨拶や敬語のはたらきを理解し、目的や場に応じた適切な使い方ができる。言葉の人間関係を構築していく力について理解する。	
	第5章 言葉を遊ぶ	・川柳を作る ・「二次創作」に挑戦する	・言葉への感覚やセンス、発想力、想像力を養う。川柳という文芸ジャンルについての基礎的な知識を身に付け、自分で作ることができる。	
	第6章 文章表現の基礎	・相手や目的に応じた文章	・相手や目的に応じて、文章の形式や内容を選ぶ方法を理解する。	
	第7章 小論文Ⅰ	・意見を論理的に述べる ・セルフ・ディベート	・根拠に支えられた意見提示の仕方を理解する。セルフ・ディベートをとおして論証の説得性を鍛える。文章を推敲することができる。	
	第8章 小論文Ⅱ	・課題文から問いを見つける ・データを読む	・文章を論理的に把握することができる。他者の意見を参考にして自分の意見を形成することができる。データを根拠に論を展開する方法を理解する。	
3年	第9章 論文作成法	・論文作成の準備・仕上げ	・マッピング・メモを作成し、論文を作成することができる。データ・資料の収集の方法を理解し、収集することができる。	
	第10章 プレゼンテーションの方法	・プレゼンテーションの技術	・プレゼンテーションの流れや、適切な音声表現と非音声表現を理解し、プレゼンテーションを行うことができる。	
	第11章 面接	・自己を分析する ・質問と応答のレッスン	・自己分析をとおして、意見やアピールを作成することができる。場面や相手に応じた伝わる話し方を理解し、実践することができる。	
	第12章 話し合いの方法	・目的に応じた話し合い ・ディベート	・目的に応じた会議の形態を理解する。ディベートの意義・全体像を理解し、議論の技術を身に付ける。	
	第13章 物語の創作	・テーマから物語を紡ぎ出す	・絵カードや抽象語を基にして、物語の作成を楽しむことができる。	
第14章 メディアリテラシー	・新聞記事を読み比べる ・広告というメディアを読む	・言語メディアと画像メディアの特性を理解する。新聞記事には発信者の立場の相違がどのように表れるかを考察することができる。広告の効果をあげる表現について理解する。情報化社会におけるマナーやモラルを理解する。		
第15章 社会にはたらきかける表現	・外に踏み出す第一歩 ・自分の世界を伝える	・ポップ作りをとおして、人をひきつける情報発信の手法を身に付ける。学校紹介のスライド作りをとおして、情報発信の際のルールを理解する。		